

令和7年 第1予算審査特別委員会討論要旨

◎新 政 会

新政会を代表して、第1予算審査特別委員会に付託されました議案第1号、令和7年度滝川市一般会計予算案及び関連議案第13号、15号、16号、17号、18号、19号、20号、22号、24号、25号、26号において全て可とする立場で討論致します。

現在、食料・生活用品、ガソリン価格等の高止まり、昨年末からのコメの販売価格の高騰など市民生活には、明るい兆しが見えない状況の中、令和7年度予算策定にあたり厳しい選択をしながらの議論となりましたが、歳入では、ふるさと納税が、滝川産「ゆめぴりか」を中心に大きく取り扱いを伸ばし、今後も期待できると思います。

駅前再開発事業を一旦停止をする苦渋の選択を決断するに至った経緯は、今後、市民に丁寧な説明が必要です。

滝川市立病院の財政立て直しには、院内に経営検討会議を開く事は必要ですが、もっと広く市民の声を聴くことも重要と考えます。

令和7年度より、市が主体となり、市内バス路線が運行されますが、市民生活に直結する大事な案件です。広く利用者市民の声を聴きとる配慮が必要です。

又、令和7年4月から「こども家庭センター」の設置が始まります。今まで以上に、子育て支援における充実が図られると期待します。

今後、益々 高齢化社会となる中で、福祉対策として、自立支援策、介護予防策、認知症対策等は、喫緊の問題であり、対応策をさらに考えなければならないと思います。以上を申し上げ、賛成討論と致します。

◎市民ネットワーク

市民ネットワークを代表し、第一予算審査特別委員会に付託されました、議案第1号令和7年度滝川市一般会計歳入歳出予算案、及び議案第13号、議案第15号から20号、第22号、第24号から26号までの12件の関連議案を一括可とする立場で討論いたします。

ここ数年エネルギーの上昇、物価高騰、世界情勢が混沌としている中で、市民生活も大変厳しい状況であり、自治体の財政運営も難しい状況下の中、市長並びに理事者の皆様のご尽力により新年度予算を作成していただいたことに感謝と敬意を表します。

以下若干の意見を付して討論といたします。

歳入に関しましては所管の皆様のご努力でふるさと納税の大幅な増額。ふるさと基金に関しましても令和6年度見込み額、28億8千万円に対し令和7年度は35億1千万円と約6億2千万円を積み増す事が出来ました。将来的にふるさと納税の新規提供者を募り更にふるさと納税の返礼品として魅力ある返礼品の開発にご尽力していただきたい。

歳出に関しましては、新規事業として科学館機能を複合した新しい海洋センター整備に関する事業や、ふれあいの里2階の現在遊休施設の再活用を見出した、母親の為のレスパイト事業など、今後将来滝川を担うお子様やお母さまの事業が進展することに大いに期待します。ふれあいの里の年間利用者約20万人、B&G海洋センターの利用者数約1,6万人、こども科学館、美術自然史館延べ来館者数約2,5万人、パークフィールド72、約2万人と滝川市を代表する観光各所が1つに集中する事から、少なくとも年間30万人程度の集客数を見込めるようご尽力いただきたい。

最後に、駅前再開発の課題、市立病院の経営課題・第一小学校の建て替えについては、慎重かつ滝川市の将来像を見据えた計画となることを強く要望します。

今後各自治体は人口減少や様々な問題で自治体運営がより厳しくなると思いますが、市・議会・市民が一丸となれる施策に取り組んでいただくことを要望し、市民ネットワークの賛成討論といたします。

◎会派清新

会派清新の代表として第1 予算審査特別委員会に付託されました、令和7 年度予算案に関連する議案第1 号、13 号から20 号、22 号、24 号から26 号のすべての議案を可とする立場で、討論いたします。

はじめに、物価高騰などの厳しい社会情勢と財政状況の中、特に子育てや教育の新規事業や予算の増額に関しまして、市理事者並びに職員の皆様に敬意を表します。

ふるさと納税の推進についてですが、本市において要とも言える財源ですので、新たな返礼品の開発を積極的に進め、幅広い層に向けてPR 活動を行い、知名度向上とより多くの財源確保に努力されたい。

総務費についてですが「行かない窓口」の実現は、市民の利便性に加え、職員の業務効率化及び将来的な経費削減が見込まれるとのことで良いことですが、災害時にも揺るがない安定した行政サービスを確保するために、必要な対策を講じていただきたいと思います。

交通弱者の足であるバスの市民線の維持は、市民生活に大きな関わりがある注目の事業です。市民生活に影響がないよう、新たな路線の検討も含め市民の実情に合った柔軟な運営を行われることを切に望みます。

民生費について、母親のレスパイトケア事業は本市の目玉になる独自の事業とのことで移民促進の面も含め、より幅広い展開を大いに期待しています。未就学児が対象とのことですが、現在ふれ愛の里の1 階のキッズスペースも未就学児対応となっています。未就学児と小学生の子を持つ多子世帯も利用しやすいように、小学生の居場所を確保することも必要と考えますので是非ご検討いただきたいです。

衛生費については、各種予防接種や検診の助成の予算拡大になお一層努力されたい。

教育費のメタバースの参加費については、5 人分の枠を確保するため に膨大な予算をかけているので継続してもらえる工夫を講じるべきと考えますので、対策されたい。
これを持ちまして、第一予算審査特別委員会の賛成討論といたします。

◎公明党

公明党を代表し、第1 予算審査特別委員会に付託されました議案第1 号令和7 年度滝川市一般会計歳入歳出予算案及び関連議案全てを可とする立場で討論いたします。

市民の多くの人々が期待している駅周辺整備事業が、一旦停止となりました。市長の断腸の思いでの決断だったと推察いたします。

私はこのことを踏まえ、今後の財政健全化のためには行政改革が必須条件と考えます。行政改革には、議員、職員一人ひとりの意識改革が要であり、その手法は様々なと思いますが、民間に学ぶべきものは積極的に取り入れて、市民の声に応えていくべきだと思います。

以上を申し上げ賛成討論といたします。

◎日本共産党

日本共産党の寄谷猛男です。第1予算審査特別委員会に付託されました議案第1号令和7年度滝川市一般会計予算及び関連議案第13号、15号から20号、22号、24号から26号を可とする立場で討論を行います。

新年度予算は、市立病院の収支改善を本市全体の重要課題として全市的に取り組むとするなかでの編成となりました。患者数減による収益の減少および物価高や賃上げに伴う経費増により市立病院の経営は大変厳しい状況にあります。収支改善に向け市が一丸となって最大限対応するとし、市は長年の懸案である駅周辺の整備事業を一旦停止するとしました。ただ、将来的な財政見通しが予測できないなか、一般会計の予算総額が前年度当初予算に対し33億8,100万円増、前年度比16.0%の増となっていることには不安を残します。

以下に、意見を述べます。

総務費関係では、本市の財政運営の最重要事項と位置付けている滝川市立病院の健全経営に向けて、「滝川市立病院経営強化プラン」に基づく取り組みを強化するとしています。そのプランの取り組みの一つに地域連携の強化が挙げられています。昨年、中空知地域が「地域医療構想モデル推進区域」に北海道内で唯一選ばれたことから、国や北海道からの支援を受けながら、地域内の病院と機能分化・連携し、市立病院の経営改善に取り組むとしています。中空知地域の住民が等しく安心して医療を受け続けることができるよう取り組んでいただきたい。